

## 事業化推進部門の活動方針とこれからの取り組み

シビル NPO 連携プラットフォーム 常務理事 辻田 満

CNCP 活動において「土木と市民をつなぐ」活動は様々あると思います。しかしながら CNCP としての限られた資源（ヒト・モノ・カネ）をベースに活動するためには活動のベクトルを明確に定めて行くことが必要と考えます。

NPO は社会的課題を自発的に取り組む組織であり、その活動種別は大きく分けて①慈善型 NPO ②市民型 NPO ③事業型 NPO と 3 つに整理されております。CNCP は発足当初から事業型 NPO としての活動形態を目指して創設されました。とくに事業化推進部門では前身の建設系 NPO 連絡協議会における試行事業から得た知見を踏まえて、CNCP をプラットフォームとして行うことが可能となる事業を立ち上げていくこととしました。また、対象とする事業はボランティアではなくソーシャルビジネス（SB）としての事業性、革新性のある事業の立ち上げに取り組んでいるところです。また、SB に加えて新たに企業の共通価値の創造（CSV 注1）活動を支援する事業に取り組みます。CNCP としてはこの方向性は今後とも変えることなくより明確に活動していくべきと考えます。

見直しワーキングにおいて CNCP の活動を市民社会と建設界の課題解決を図るため、「土木と市民社会をつなぐ」というミッションを明確に打ち出しました。これは、従来の建設界の「官公庁＋建設企業」という二極構造に加えて、シビル NPO が「市民社会」をつなぐ「新たな第三極の役割」を果そうという取り組みです。つまり、この取り組みは、①市民利益＋②建設界の評価＋③シビル NPO の「核心的な収益」を確保したい…という「三方良し」の実現を目指すものです。

これは、従来のソーシャルビジネス（SB）および企業の共通価値の創造（CSV）の更なる進化した事業活動であり「ビジネスモデルの変革」を想定しています。CNCP は「土木と市民社会をつなぐプラットフォーム機能」を担い、サービス・プロバイダーの役割を発揮すべきと考えています。

事業化推進部門における「土木と市民社会をつなぐ」とは具体的にシンクタンクチームを統括して、事業化のための研究会を立ち上げるとともに、建設分野における社会的課題解決を図る事業（特にソーシャルビジネス（SB）および企業の共通価値の創造（CSV））の顕在化を図る活動を推進していくことと捉えております。シンクタンクとしての機能を十分発揮して社会的事業の発掘と提案を行い、建設企業などとの連携による事業化の研究に取り組みます。賛助会員企業との更なる連携強化を今後積極的に図って参ります。

注1：共通価値の創造（CSV）とは社会的課題を工夫のある事業で解決を図ると共に合わせて企業価値の向上を図る事業を称します。12月11日（火）第3回 CNCP サロンで講師に野村総合研究所の西尾紀一氏をお招きして「共通価値の創造（CSV）とは—CSV を判りやすく解説する—」をご講演頂きました。第3回サロンの報告は CNCP 通信 Vol57 に掲載されておりますので是非ともご一読下さい。また、2019年2月から CSV をメインテーマとして取り上げた「土木と市民社会つなぐ事業研究会」を立ち上げました。詳しくはホームページをご覧ください。